

# 卒前集中講義

責任者	氏名	下川 功	内線	7051
	教室	病理学第一（内臓機能病態病理学）	e-mail	
	オフィスアワー	月曜日、午後4時30分より5時30分（事前に電話で所在を確認すること）		

対象年次・学期	6年・前期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	臨床総括講義8.5単位の一部
英語名	Pre-graduate intensive course		

## 1. 授業のねらい・方法・到達目標

ねらい： これまでの講義や実習で修得してきた医学的知識や思考力、判断力を整理・統合し、より実践に即した臨床的アプローチができるように、それぞれの臨床テーマについて各科横断的に講義を行う。

方法： あらかじめ実施したアンケートにおいて学生の希望が多かった疾患や症候について、関連する診療科が協力・分担して講義する。

到達目標： 症候から診断・治療へのアプローチができる。一つの疾患を例えば内科的・外科的観点など異なった視点から考察することができる。診療科間の連携の有用性を理解できる。

## 2. 授業内容（講義・実習項目）

次ページ予定表のとおり。

## 3. 教科書、参考書等

書名	著者	出版社	定価
担当各科が提示する			

## 4. 成績評価の方法・基準

授業への参加状況など総合的に合格を判定する。臨床総括講義の単位に含まれる。

## 5. 教員名

次ページ予定表のとおり

## 6. 備考（準備学習等）

講義テーマに関連する項目について、これまで学習した各論の教科書や実習ノートを復習し、疑問点等を整理しておくこと。

## 卒前集中講義 (6年前期)

月	日	曜日	校時	授業項目	担当講座等	担当教員	教室
7	14	月	1	躁うつ病	精神神経科	小澤寛樹	臨2
			2	胸痛	内科3、内科2	○瀬戸信二、河野 茂	臨2
			3	先天性心疾患	心臓血管外科 内科3	○江石清行 瀬戸信二	臨2
			4				
7	15	火	1	輸血医療	臨床検査	○上平 憲、長井一浩	臨2
			2	運動麻痺・筋力低下	整形外科、脳外 感染分子(脳神経系)	○進藤裕幸、永田 泉 中村龍文	臨2
			3				
			4				
7	16	水	1	白血病	原研内科	朝長万左男	臨2
			2	貧血			
			3	下痢、便秘の鑑別と消化管の画像診断	内科2	水田陽平	臨2
			4	神経疾患の症候と診断法	内科1	本村政勝	臨2
7	17	木	1	月経異常、正常異常妊娠	産婦人科	増崎英明	臨2
			2	脳腫瘍	脳神経外科	永田 泉	臨2
			3	呼吸困難	内科3、耳鼻科 内科2	○瀬戸信二、高橋晴雄 河野 茂	臨2
			4				臨2
7	18	金	1	胸部X線写真の見方	放射線科	上谷雅孝	臨2
			2	腹部CT、MRIの読影			
			3	肝臓および肝移植	外科2 内科1	○兼松隆之 中尾一彦	臨2
			4				
7	22	火	1	救急の輸液管理、ショック、 電解質異常	麻酔科 内科2	○澄川耕二 古巣 朗	臨2
			2				
			3	糖尿病性合併症(眼病変を除く)	内科1	山崎浩則	臨2
			4	眼底所見(糖尿病を含む)	眼科	北岡 隆	臨2
7	23	水	1	心電図の読み方	内科3	瀬戸信二	臨2
			2	不整脈			
			3	小児に特徴的なcommon diseases	小児科	森内浩幸	臨2
			4	腹痛	外科1	安武 亨	臨2
7	24	木	1	リウマチ性疾患・ 変形性関節症/化膿性関節炎	内科1 整形外科	○江口勝美 進藤裕幸	臨2
			2				
			3	先天性疾患と遺伝性疾患	小児科 産婦人科	○森内浩幸 増崎英明	臨2
			4				
7	25	金	1	泌尿器科各種診療ガイドラインの要点	泌尿器科	金武 洋、酒井英樹	臨2
			2	腎不全	内科2	古巣 朗	臨2
			3	めまい	耳鼻科、脳外科	○高橋晴雄、永田 泉	臨2
			4	熱傷	形成外科	平野明喜、迎 伸彦	臨2
7	28	月	1	老人保健	公衆衛生	青柳 潔	臨2
			2	産業保健			
			3	膠原病-血管炎症候群を中心として 膠原 病の皮膚病変/抗体検査方法	内科1 皮膚科	○江口勝美 佐藤伸一	臨2
			4				
7	29	火	1	救急蘇生、小児救急	麻酔科 小児科	○澄川耕二 森内浩幸	臨2
			2				
			3	感染症の診断と治療	内科2 熱研内科	○河野 茂 有吉紅也	臨2
			4				
7	30	水	1	肺癌	外科1 内科2	○永安 武 中村洋一	臨2
			2				
			3	失神	総合診療科	大園恵幸、竹島史直	臨2

○はオーガナイザー

# 高次臨床実習

責任者	氏名	大園 恵幸	内線	7591
	教室	総合診療学	e-mail	oozono@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	17:30～18:30		

対象年次・学期	6年・前期	講義形態	実習
必修・選択	必修	単位数	18単位
英語名	Clinical Clerkship II (Elective Clerkship courses)		

## 1. 授業のねらい・方法・到達目標

学生が診療チームに参加し、その一員として診療業務を分担しながら医師の職業的な知識・思考法・技能・態度の基本的な部分を学ぶことを主旨とする。5年次の臨床実習と比較し、より診療参加型の実習となる。

以下の診療科より3科を選択し、1ターム5週間の実習を3ターム行なう。

第1内科、第2内科、第3内科、原研内科、熱研内科、総合診療科、離島・地域医療（五島中央病院・上五島病院）、精神神経科、小児科、第1外科、第2外科、整形外科、皮膚科・アレルギー科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、産科婦人科、麻酔科、救急部、脳神経外科、形成外科、心臓血管外科、法医学、ライデン大学、ビュルツブルグ大学、プサン大学、ハーリム大学

## 2. 授業内容（講義・実習項目）

選択科により異なる。高次臨床実習要項を参照。

## 3. 教科書、参考書等

適宜。

## 4. 成績評価の方法・基準

各タームで、出席状況、実習状況等を総合し、評価表に基づいて評価する。3ターム全ての合格を以て高次臨床実習の合格とする。

## 5. 教員名

高次臨床実習要項を参照。